

<研究開発課題>

生涯にわたって自ら学びを進めていくことができる
児童生徒の育成を目指した、これからの中の時代の
学習の基盤となる資質・能力の育成に向けた
教育課程及び指導方法に関する研究開発

愛知県春日井市

- ・人口約31万
- ・児童生徒数
約25500人
(各学年 約2800人)
- ・学校数54校
小38校 中16校
- ・教員数 約1450人



春日井市立出川小学校
春日井市立高森台中学校



おもな内容

1

研究概要について

高森台中学校 教頭 小川 晋

2

出川小の実践から

出川小学校 教務主任 阪井 克典

3

高森台中の実践から

高森台中学校 教務主任 長繩 正芳



1人1台端末 と クラウド の 日常的な 活用が定着



これまでの経緯 「自ら学ぶ」へ

<GIGAスクール構想以前からの大きな目標>

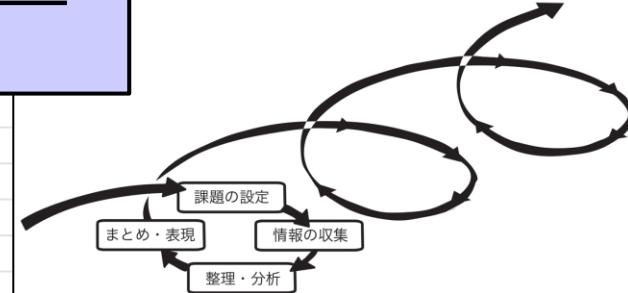
生涯にわたって自ら学び続けられるように

「探究的な学習の過程」を重視

1人1台端末とクラウド環境の整備完了

了
↓
基本的な操作の指導

探究のプロセス



課題の設定 → 情報の収集 → 整理・分析 → まとめ・表現

各学年・各教科で指導

情報の集め方・情報の整理の方法・ディスカッション・
まとめの方法等

研究開発学校として取り組んできたこと

- ・体系的な情報活用能力の育成のための
小中一貫のカリキュラム編成
- ・体系的な情報活用能力育成のための
小1～中3各学年35時間の「情報の時間」
の創設と実践

B. 学習の基盤となる
資質・能力

B2. 基礎基本
(漢字、計算、情報手段の基本的な操作等)

B3. 問題解決能力の基礎等
(このための言語能力、情報活用能力を含む)

B1. 学ぶ姿勢、学習規律、情報モラル等
(学びに向かう力、人間性等の一部)

研究開発学校として取り組んできたこと

生涯にわたって自ら学びを
進めていくことができる
児童・生徒の育成



各教科等の学習や学校生活の
あらゆる問題解決的な場面で發揮
(これからの中時代に向けて育成を
目指す資質・能力)

補充・深化・統合

B3：問題解決の基礎

課題の設定
情報の収集
整理・分析
まとめ
発表

情報の技術

情報科学

中学校は
技術科で
指導

プログラミング

B2:情報手段の基本的な操作等

B1:情報社会に参画する態度（情報モラル等）

おもな内容

1

研究概要について

高森台中学校 教頭 小川 晋

2

出川小の実践から

出川小学校 教務主任 阪井 克典

3

高森台中の実践から

高森台中学校 教務主任 長繩 正芳



令和7年度研究開発学校フォーラム

研究開発の概要

春日井市立高森台中学校
小川 晋

研究開発課題

生涯にわたって
自ら学びを進めていくことができる
児童生徒の育成を目指した、
これからの中の時代の学習の基盤となる
資質・能力の育成に向けた
教育課程及び指導方法に関する研究開発

自分で学ぶことのできる
児童・生徒を育てる

概念

OUTPUT

處理

事實

INPUT

事實

事實

事實

探究的な学習のために備えたい方法

- 1 課題に沿って情報を集められる
- 2 集めた情報を比較・分類するなどの整理・分析ができる
- 3 情報（事実）をもとにした意見形成ができる
- 4 情報の吟味ができる

よりよい授業にするために校内で指導していることを集める

情報活用能力 現場で実際に使って便利 ☆ ☰ ☱

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ 最終編集: 4月28日

共有

100% | ¥ % .0 .00 123 | デフォルト... | 10 | B I S A | 田 | 三 | ト | パ | ブ | シ | ゴ | 田 | 田 | ヲ | ヲ | サ | あ | fx |

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		探究						
2	操作	課題	収集		データ分析	思考	まとめて表現	視覚/聴覚
3	チャット入力発信受信	定義づける	写真の見方		読む	比較分類	大事な情報を目立たせる	～だから（理由）
4	カレンダー予定入力・確認	目的の明確化	地図の見方	構成要素	比較する	多面的多角的	色使い（色彩感覚）	～のため（目的）
5	フォームの作成	問い合わせ	音の聞き方	構成要素	入力する	抽象化	音（効果音・BGM）	結論から話す
6	文字入力	KJ法	動画の見方	構成要素	グラフ化する	具体化	コピー（文字の意）	～の面でいうと
7	式の挿入	直感的問い合わせ	統計資料の見方	グラフの種類	目的からぶれない	事実と意見	形（丸み、かど）	～の立場でいう
8	画像の挿入	want to	文章読解	音声化 まとめ トピックセンテンス 資料 つなぐ	平均化する	原因と結果		つまり
9	動画の挿入	問題を発見する	話の聞き方	ペーシング	並べ替える	言い換え		例えば
10	動画の撮影操作	教師の発問が問い合わせのモデル ヒドゥン	サイトの見方	ツリー	散らばり	構造化		第1に
11	動画の編集操作	プレスト	ログの収集		偏り	ifの思考		みんなを見て話
12	コピー	議論から浮かぶ	アンケート		トップ	要約		うなずきながら
13	ペースト	探究中に浮かぶ	検索ワード		ボトム	マインドマップ		定義づける
14	目的の情報にたどり着く	わくわく	英語		傾斜	軸のヤット		

情報活用能力の構造

B3：問題解決の基礎

課題の設定
情報の収集
整理・分析
まとめ
発表

情報の技術

情報科学
プログラミング

B2:情報手段の基本的な操作等

B1:情報社会に参画する態度（情報モラル等）

研究の目的

- 「情報の時間」の創設と
「情報の時間」における体系的な
情報活用能力の育成
- どの地域でも実践可能なように
学習指導要領の形式でまとめる

研究の概要

情報活用能力を段階的に育成するために
「情報の時間」を創設し、以下のことを研究する

- ① 教科横断的な視点を常に意識した
学習活動のあり方
- ② 体系的・系統的な育成のための教育課程
- ③ 教材の共有、指導体制の確立

中学校学習指導要領 情報の時間

第1 目標

クラウドやAI等のテクノロジーの活用を前提とした学習環境で、問題解決的な活動等を学習の中で数多く経験させることで情報活用能力を育成し、学習や生活等の様々な場面で目的や相手に応じて主体的に情報を構成できるようとする。

総合的な学習の時間



情報の時間で
情報活用能力を育成



各教科の
学習

授業以外の
場面



僕は奈良時代を「中国との格差を結構なくせた時代かもしれない。」と捉えた。なぜなら、奈良時代には、中国に遣唐使を送り、中国の仕組みを取り入れられるようになつたため、中国の成功例を丸ごとコピーして、国を強くする仕組みを作った。例えば、律令制度や公地公民制、官僚制度などなどが挙げられる。それにプラスで聖武天皇は、仏教の力で国を護る「鎮護国家」という思想を掲げ、東大寺の大仏造立という巨大な国家事業を行つた。これは、日本の技術力と経済力を世界に示す、非常に壮大な「国力のアピール」だった。そして、奈良時代の日本はまだまだ最先端の技術を取り入れるために遣隋使だけではなく遣唐使も絶えず派遣し、奈良時代の日本は中国と朝鮮をハイブリットし、日本特有の考え方で生まれた技術も取り入れた文明がものすごく発展している国になつた。特に、p51に書いてある唐から鑑真を招き、正しい仏教の戒律を伝えてもらったことや、正倉院に唐や遠く西域からもたらされた宝物が納められたことは、日本の文化水準がアジアの頂点である唐と肩を並べるほどに達した証拠だ。この努力の結果、日本は東アジアで唐に次ぐ先進国としての地位を確立し、「格差を結構なくせた時代かもしれない」と言えるところまで登りつめた。だから僕は奈良時代を「中国との格差を結構なくせた時代かもしれない。」と捉えた。

僕は奈良時代を「中国との格差を結構なくせた時代かもしれない。」と捉えた。なぜなら、奈良時代には、中国に遣唐使を送り、中国の仕組みを取り入れられるようになつたため、中国の成功例を丸ごとコピーして、国を強くする仕組みを作つた。例えば、律令制度や公地公民制、官僚制度などなどが挙げられる。それにプラスで聖武天皇は、仏教の力で国を護る「鎮護国家」という思想を掲げ、東大寺の大仏造立という巨大な国家事業を行つた。これは、日本の技術力と経済力を世界に示す、非常に壮大な「国力のアピール」だつ

事実をもとに

日本はまだまだ最先端の技術を取り入れるために遣も絶えず派遣し、奈良時代の日本は中国と朝鮮をハ

ごく発展している国になつた。特に、p51に書いてある唐から鑑真を招き、正しい仏教の戒律を伝えてもらったことや、正倉院に唐や遠く西域からもたらされた宝物が納められたことは、日本の文化水準がアジアの頂点である唐と肩を並べるほどに達した証拠だ。この努力の結果、日本は東アジアで唐に

久く元進国としての地位を確立し、「恰左を和博なくてに時いかもしれい」と言えるところまで登りつめた。だから僕は奈良時代を「中国との格差を結構なくせた時代かもしれない。」と捉えた。

僕は奈良時代を「中国との格差を結構なくせた時代かもしれない。」と捉えた。なぜなら、奈良時代には、中国に遣唐使を送り、中国の仕組みを取り入れたりするところから、日本の「中国との格差をなくせた時代」である。

る仕組みを作った。例えば、律令制度や公地公民制、官僚制度などなどが挙げられる。それにプラスで聖武天皇は、仏教の力で国を護る「鎮護国家」という思想を掲げ、東大寺の大仏造立という巨大な国家事業を行った。これは日本の技術力と経済力を世界に示す、非常に壮大な「国力のアピール」だった。そして、奈良時代の日本はまだまだ最先端の技術を取り入れるために遣隋使だけではなく遣唐使も絶えず派遣し、奈良時代の日本は中国と朝鮮をハイブリットし、日本特有の考え方で生まれた技術も取り入れた文明がものすごく発展している国になった。特に、p51に書いてある唐から鑑真を招き、

政治制度 宗教 テクノロジー 外国との交流

次ぐ先進国としての地位を確立し、「格差を結構なくせた時代かもしれない」と言えるところまで登りつめた。だから僕は奈良時代を「中国との格差を結構なくせた時代かもしれない。」と捉えた。

僕は奈良時代を「中国との格差を結構なくせた時代かもしれない。」と捉えた。なぜなら、奈良時代には、中国に遣唐使を送り、中国の仕組みを取り入れられるようになつたため、中国の成功例を丸ごとコピーして、国を強くする仕組みを作った。例えば、律令制度や公地公民制、官僚制度などなどが挙げられる。それにプラスで聖武天皇は、仏教の力で国を護る「鎮護国家」という思想を掲げ、東大寺の大仏造立という巨大な国家事業を行つた。これは、日本の技術力と経済力を世界に示す、非常に壮大な「国力のアピール」だった。そして、奈良時代の日本はまだ最先端の技術を取り入れるために遣隋使だけではなく遣唐使も絶えず派遣し、奈良時代の日本は中国と朝鮮をハサウエーとして、その考え方で生まれた技術も取り入れた文明がものす

抽象化

いた。特に、p51に書いてある唐から鑑真を招き、
てもらったことや、正倉院に唐や遠く西域からもたらされたことは、日本の文化水準がアジアの頂点である唐と肩を並べるほどに達した証拠だ。この努力の結果、日本は東アジアで唐に次ぐ先進国としての地位を確立し、「格差を結構なくせた時代かもしれない」と言えるところまで登りつめた。だから僕は奈良時代を「中国との格差を結構なくせた時代かもしれない。」と捉えた。

習得から発揮までを 保障する教育課程を編成する

文脈の提示

繰り返すこと

スライド共有

活動の具体

月	週	単元名・活動・目標	繰り返し経験させること	教材・スライド	備考	やったこと
4月	1	1 高森台中のよさをプレゼンにしよう 目 自分の意見をわかりやすく伝えるために情報をまとめて表現することができる ①ちょっと先の未来を見ながら情報の時間で学ぶ目的を知る ②③学習過程を使って問題を解決する経験をする ④Webサイトの構造を知り、効率よく情報を集める ⑤多面的に物事を見る経験をする ⑥物事を比較して見る経験をする ⑦物事を抽象化させる経験をする ⑧自分の意見をもとに、他者と議論をする ⑨自分の意見がよく伝わるような写真を撮って説明をする ⑩自分の意見がよく伝わるような写真を撮って説明をする ⑪自分の意見がよく伝わるような写真にキャッチコピーを付け加えよう ⑫学習を振り返る方法を知る	学習過程を実践的に活用させる	<input type="checkbox"/> 情報の時間1年生1学期① <input type="checkbox"/> 情報の時間 1年生 2学期...		ちょっと先の未来を見せる オムレツをつくることができるようになるには
	2		学習過程を実践的に活用させる	<input type="checkbox"/> 情報の時間 1年 1学期③	1回目なので教師の指示はほぼなくす	アピタへの行き方
	3		webサイトが一定の構造になっていることを理解して効率よく見るための練習 自分のよく知っているものについて集めた情報の分類 よく知っているものについて他のものと比較しながらの情報整理 物事の抽象化	<input type="checkbox"/> 情報の時間 1年 1学期④ <input type="checkbox"/> 1年情報の時間⑤ <input type="checkbox"/> 情報の時間⑥ <input type="checkbox"/> 情報の時間⑦ <input type="checkbox"/> 情報の時間⑧	クイズ形式で楽しく進める 複数のHPを活用する 身近なテーマをもとにする 身近なテーマをもとにする	HPの見方 NHKforschoolを読み取る→高森台中のHPを読み取る 私の家の好きな場所（多面多角）→高森台中のよいところを分析する バスはどんな乗り物（多面・多角）→高森台中の分析 国語ってどんな時間？（抽象化）→高森台中の抽象化 ペットは犬・猫？→クリティカル・シンキング練習
5月	4			<input type="checkbox"/> 情報の時間⑨	変化自分で感じるよう	文房具の写真 アップ・ルーズ・アングル
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					

一人ひとりの伸び方は違っていい だから学年を超えて繰り返す

4年生

単元 自分の宝物をプレゼンテーションしてみよう

10月実施

単元の流れ

目標:発表資料の作成手順や効果的なスライドの作成手順を知り、相手に伝わりやすい
プレゼンテーションスキルを習得することができる

- ①宝物について情報を集める
- ②聞き手を意識した資料の要点について確認し、スライドを作成する
- ③チャットを使って共有したスライドにコメントする
- ④チャットでのコメントをもとに、スライドを修正し完成する
- ⑤発表の準備とリハーサルを行う
- ⑥まとめた内容を発表する
- ⑦単元を振り返る

3年生

1 私たちの未来のために必要な対策を考え、提案しよう

目標:データを適切に扱い、自分の問題解決に活かす経験をする

- ①日本が抱えている諸問題を知る
- ②日本の問題に対する対策や問題と関係づいた取り組みを知る
- ③私たちの住んでいる地域が抱えている問題や現状を調べる
- ④問題の原因を調べる
- ⑤対策や取り組みを調べる
- ⑥私たちの未来のために必要な対策を考え、まとめる
- ⑦スライドの構成を考える
- ⑧スライドにまとめる
- ⑨スライドを相互評価する
- ⑩スライドを改善する
- ⑪発表する
- ⑫振り返る

小学4年
プレゼン単元

中学3年
プレゼン単元

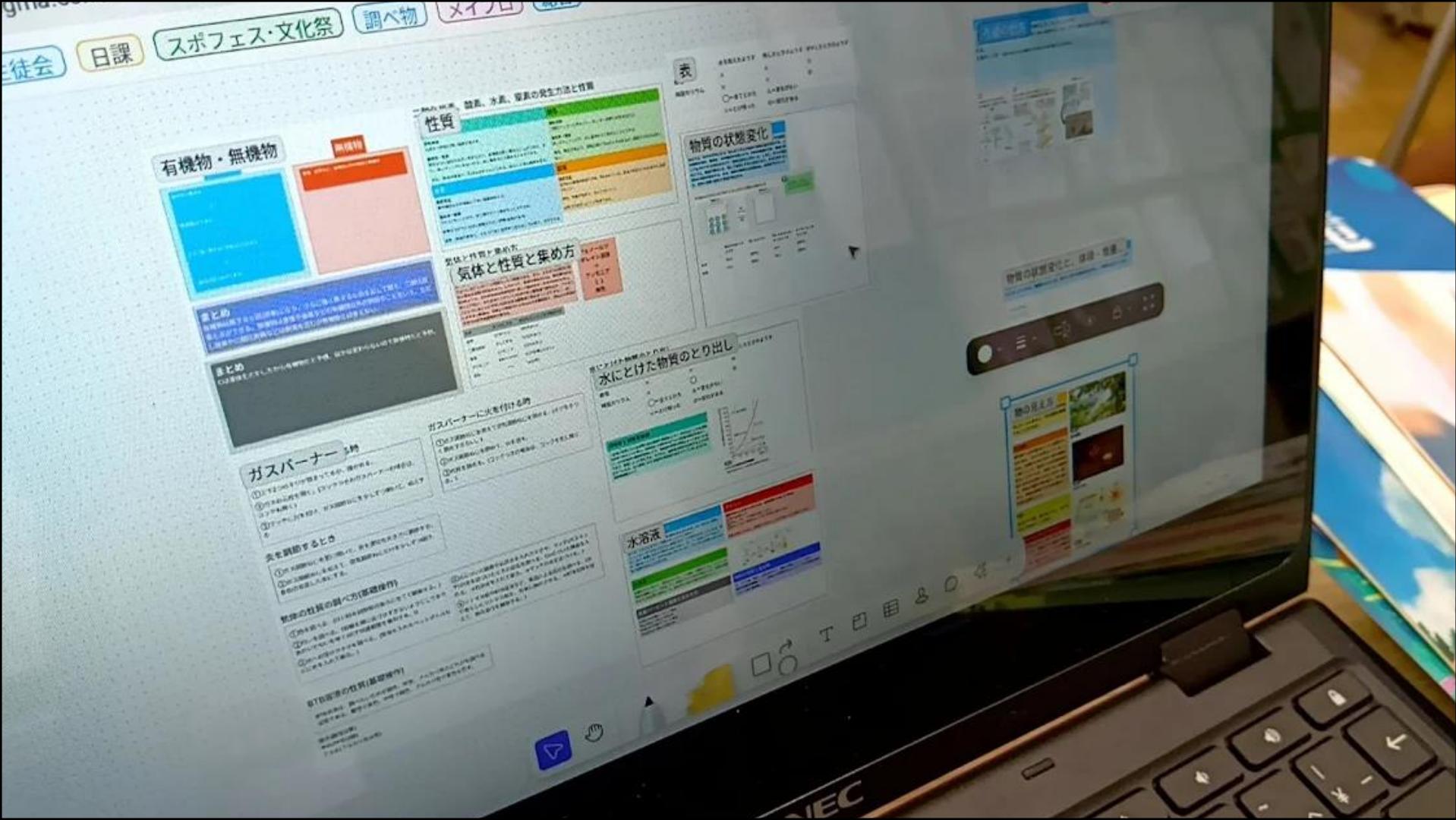
中学校学習指導要領 情報の時間

第1 目標

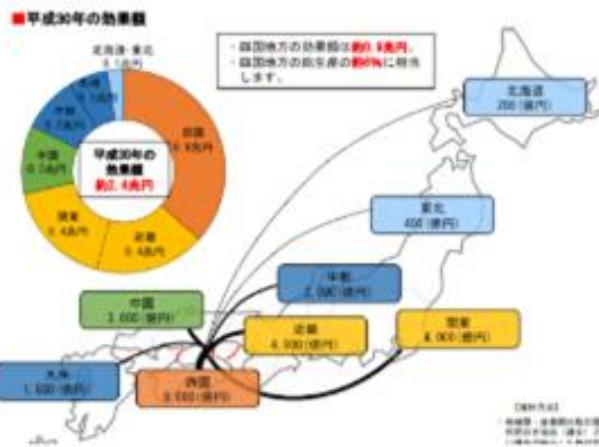
クラウドや AI 等のテクノロジーの活用を前提とした学習環境で、問題解決的な活動等を学習の中で数多く経験させることで情報活用能力を育成し、学習や生活等の様々な場面で目的や相手に応じて主体的に情報を構成できるようにする。

クラウドはいつもそばに





生成AIにリサーチを手伝ってもらう



□ この橋を渡って何が運ばれているのかがわかるサイトを教えて

◆ 思考プロセスを表示 ^

本州四国連絡橋（本四高速道路）を渡って運ばれている貨物の品目について、具体的な内訳がわかる公的なサイトをご案内します。

教員に 生徒に

春日井市立出川小学校

春日井市立高森台中学校

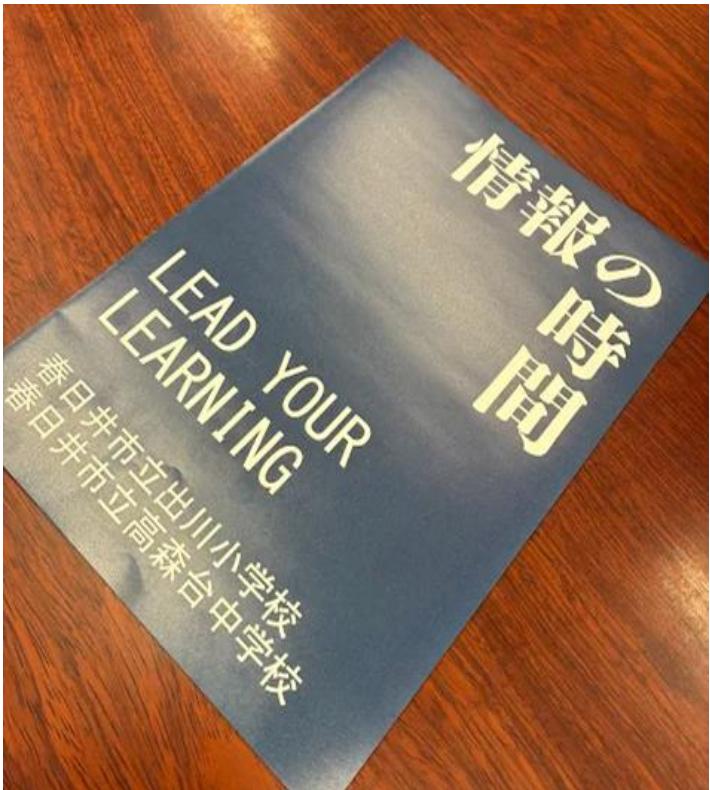
学習指導要領

情報の時間（暫定版）

令和7年10月



保護者に配付したパンフレット



「情報の時間」は、生涯にわたって自分の力を伸ばし続ける
よき学び手となるためのベースをつくります

課題を設定する 情報を収集する 情報を整理・分析する 情報をまとめる 学年が上がるほど、
経験する量が豊富になります
問題解決の基礎となる
情報活用能力を育成します

情報手段の基本的な操作に習熟します
アプリ操作やタイピングに習熟し、
自在にクラウドと生成AIを活用できるようにします

小学1年 小学2年 小学3年 小学4年 小学5年 小学6年 中学1年 中学2年 中学3年

情報技術についての基礎的な知識を得ます

情報社会に参画する態度を育てます

学ぶたびに自分の成長を感じられる日々を実現します

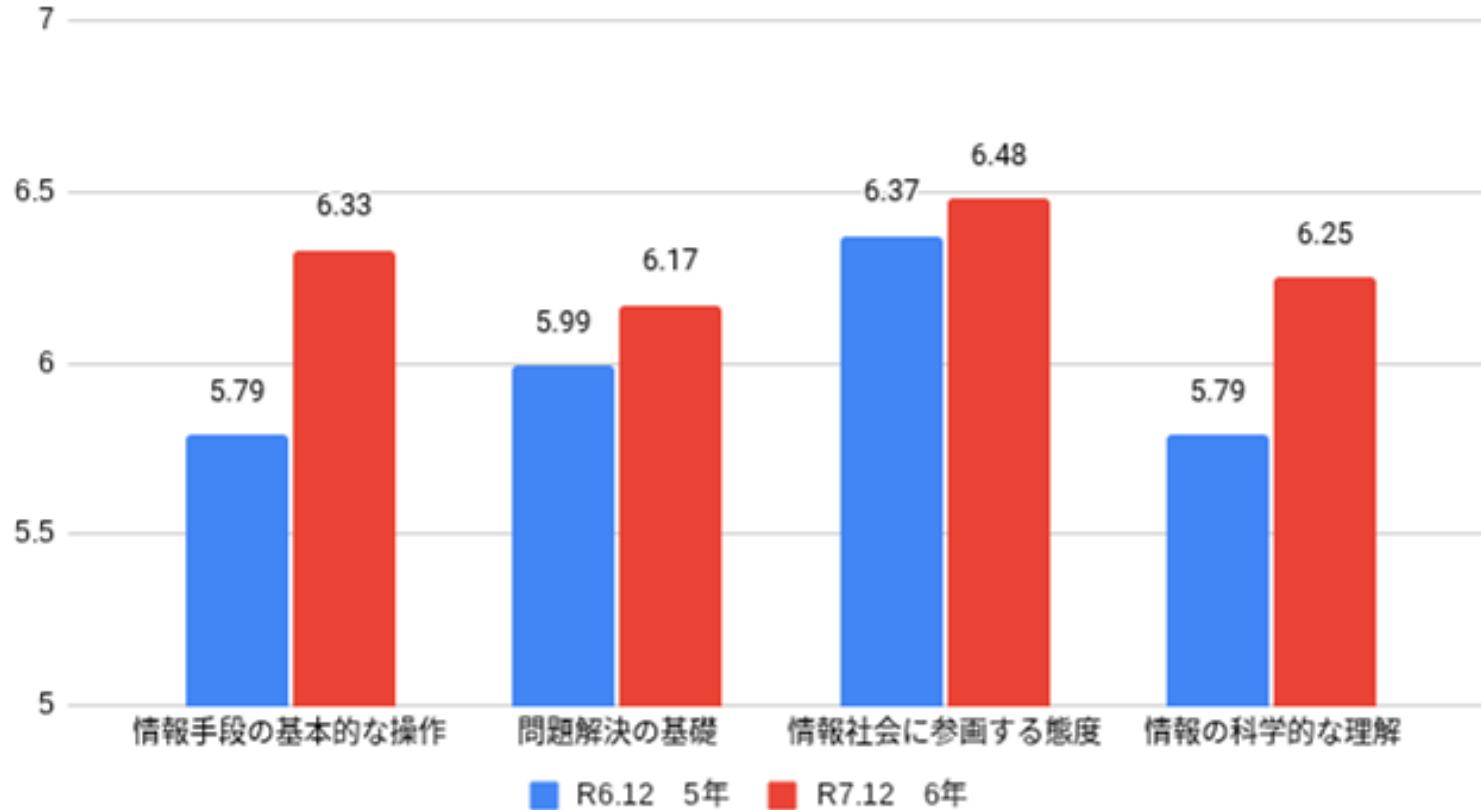
探究的な学習に取り組むための素地ができます

各教科の授業などのさまざまな場面で事実をもとに自分の考えを形成できるようになります

児童生徒の手ごたえを定点で追う（7件法）

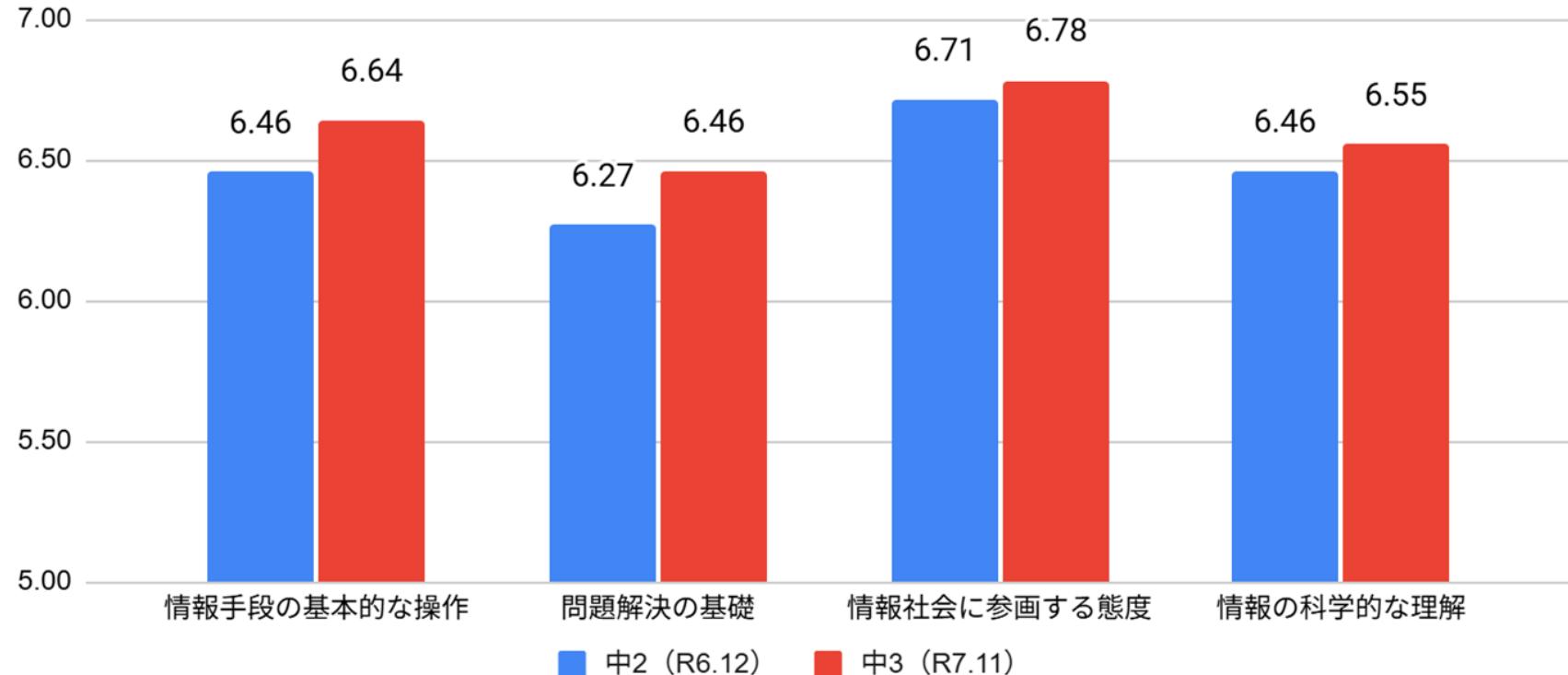
次のことについて、あなたはどのくらいできますか？ *

情報の時間の学習に関するアンケート 2024,2025



R6 n=116 R7 n=127

情報の時間の学習に関するアンケート 2024,2025



R6 n=89 R7 n=90

あなたは、これまでの情報の時間で学んだ結果、
どのようなことができるようになったと考えていますか。
思いつくことを自由に書いてください。

小学6年

私は情報の時間で、友達と意見交換をして、
意見を共有することでより**色んな面から物事を
考え**ることができます。

中学3年

自分が気になったことや疑問に思ったことを
自分の力だけで解決することができるようになった。
**情報の時間を重ねていくごとに、調べるためのツールや分析の
仕方などがどんどん増えていき、解決するまでの時間も
短縮**することができていると思う。

あなたは、これまでの情報の時間で学んだ結果、どのようなことが
できるようになったと考えていますか。
思いつくことを自由に書いてください。

小学5年

他教科で表やグラフを使って、相手にわかりやすいようにまとめたり、
スライドを相手が見やすく、わかりやすくなるようなポイントを使って、
まとめたりできるていると思います。

また、自分の考えをいろんなまとめ方で相手に伝わりやすいように
まとめられたり、**発表するときに、話す順序を決め、話したときに
相手により伝わりやすくなるようにできている**と思います。

中学2年

理科の実験で結果をグラフにまとめるときに、
正しく操作して見やすく作ることや、社会の調べ学習では、
集めた情報を分けたり、比べたりして整理するのに役立った。

また、国語で自分の考えを書くときに、伝わりやすい順序を考えて
書くようになった。

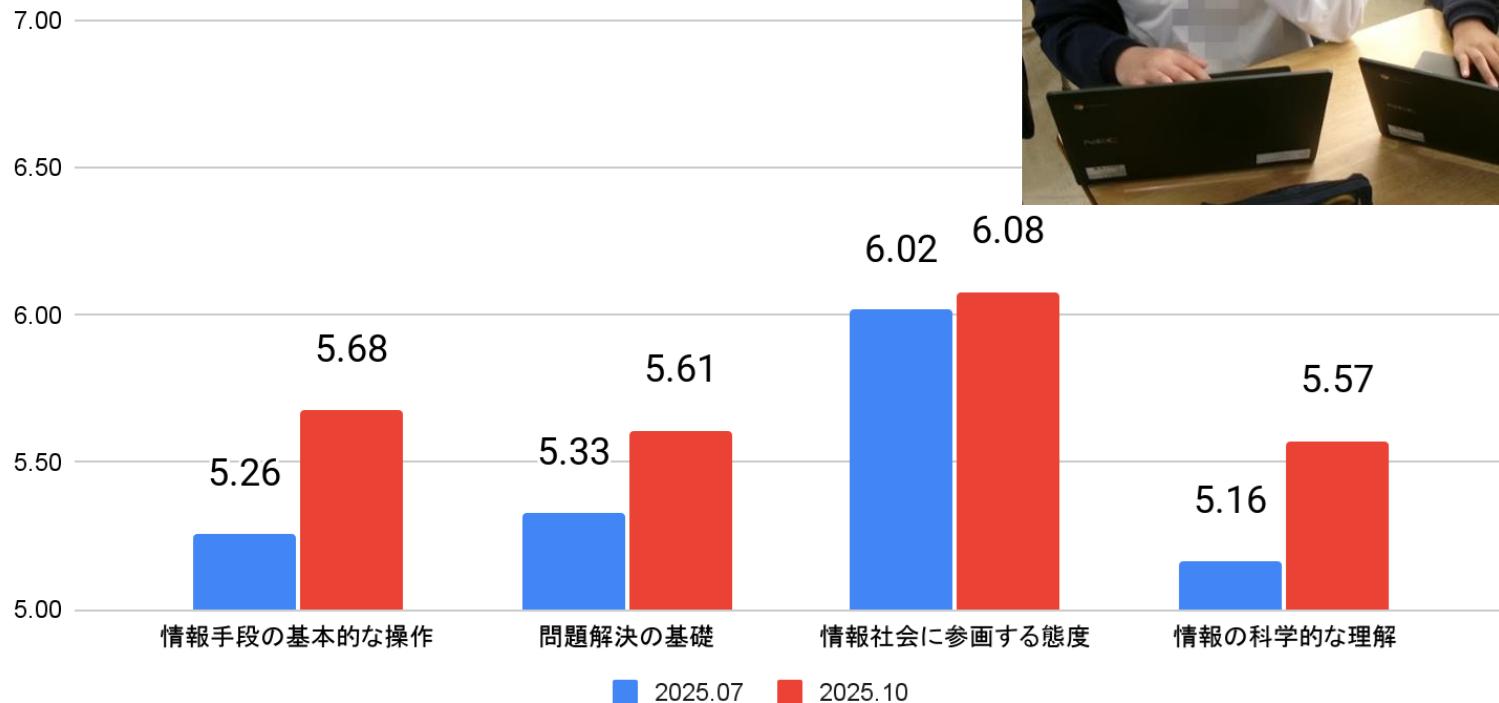
情報の時間について思っていることが
あれば自由に書いてください。

情報は楽しいし、自分でできなかつたことが
できるようになるから**来年もやりたい**です。 (小学4年)

情報は将来に役立つと思うので**中学になっても**情報の授業が
あるといいと思います。 (小学5年)

情報の時間は、「**自分で考える**」という勉強ができるので
来年も情報の時間はあってほしいと思います。 (中学1年)

市内中学校で 一部単元実施(n=68)



情報の時間の実施によって児童生徒はどのように変化したかに関する質問

	主体的に情報の収集や整理をするようになった	上手に写真や画像を扱うようになった	他者とインターネット上でコミュニケーションをとるようになった	他者と対面でもコミュニケーションをとるようになった	主体的に情報を発信するようになった
全体	4.47	4.53	4.12	3.95	4.42
小学校	4.45	4.68	3.91	3.82	4.36
中学校	4.53	4.42	4.37	4.26	4.53

授業者として感じている変化に関する質問

	授業中の指示や説明が減った	児童・生徒の学習状況を把握しやすくなった	特定の児童に多くの時間を使えるようになった	担当の教師が休みや出張のときでも学ばせやすくなった	他の教師と資料や課題を共有しやすくなった
全体	4.6	4.4	4.4	4.4	4.7
小学校	4.4	4.3	4.4	4.3	4.6
中学校	4.8	4.6	4.5	4.5	4.9

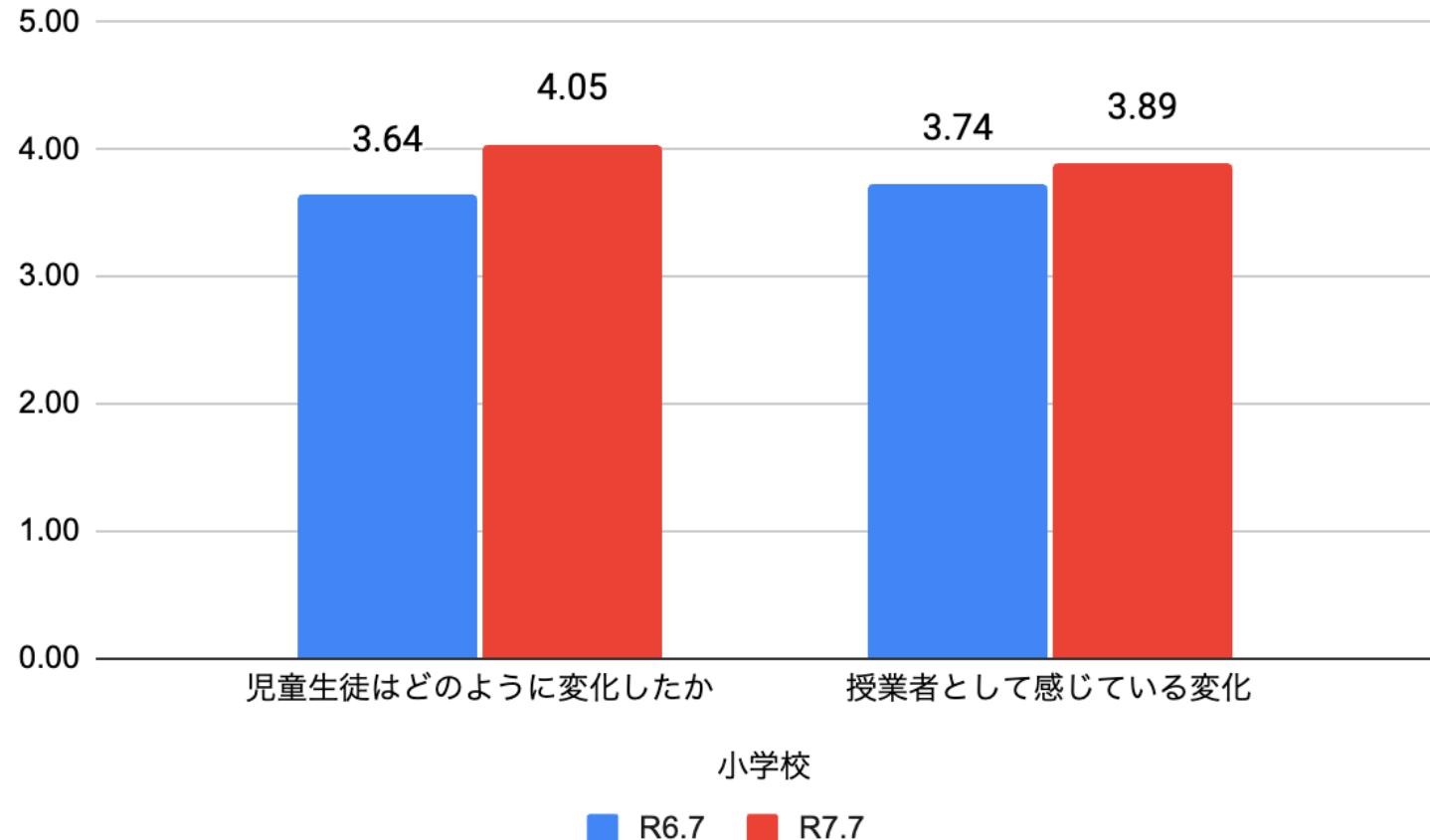
情報の時間の実施によって児童生徒はどのように変化したかに関する質問

	主体的に情報の収集や整理をするようになった	上手に写真や画像を扱うようになった	他者とインターネット上でコミュニケーションをとるようになった	他者と対面でもコミュニケーションをとるようになった	主体的に情報を発信するようになった
全体	4.47	4.53	4.12	3.95	4.42
小学校	4.45	4.68	3.91	3.82	4.36
中学校	4.53	4.42	4.37	4.26	4.53

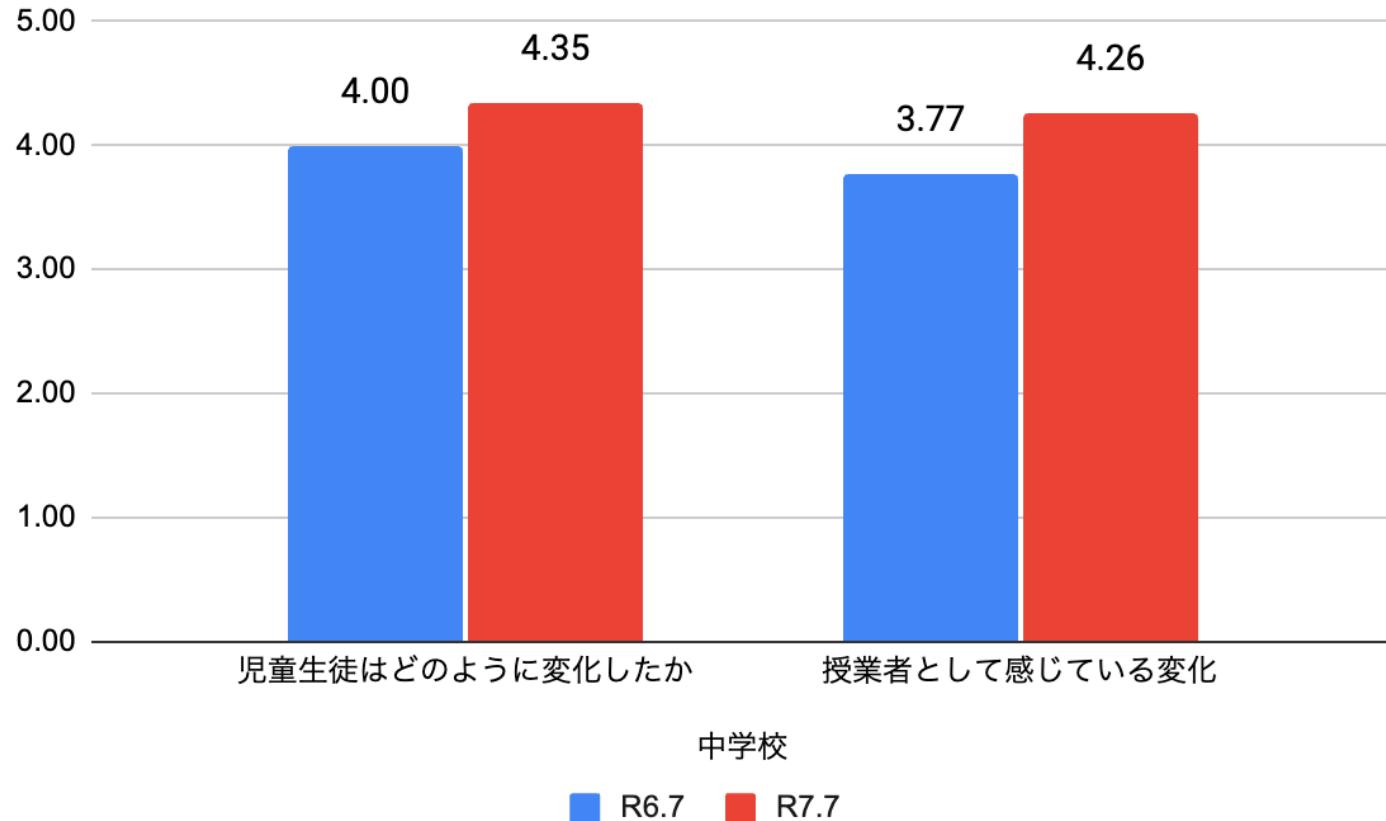
授業者として感じている変化に関する質問

	児童・生徒の学習状況を把握しやすくなった	特定の児童に多くの時間を使えるようになった	担当の教師が休みや出張のときでも学ばせやすくなった	他の教師と資料や課題を共有しやすくなった
全体	4.6	4.4	4.4	4.4
小学校	4.4	4.3	4.4	4.3
中学校	4.8	4.6	4.5	4.5

小学校教員にはどう見えているか



中学校教員にはどう見えているか



総括的な評価 ~評価シートの作成~

令和6年度

「情報の時間」評価シート

3年9組99番 名前 高森 花子

▼「情報の時間」の学び

- 「情報の時間」では、次のような情報活用能力を身に付け、活用してきました。
 - ・情報社会と上手にかわらうとする態度
 - ・タイピングなどのコンピュータの基本的な操作の方法
 - ・情報の収集、情報の整理・分析といった、問題を解決するための方法
 - ・プログラムやAIなどの情報の技術的理解
- 「情報の時間」で身に付けたこれらの能力は、これから学習や生活にある問題解決的な場面で役立つ大切な力で、これを発揮することで学習や生活をよりよくすることができます。

▼この1年間の学習課題と成果物

	学習課題	成果物
1学期	We b サイトをつくって高森台中をPRしよう	Google サイト
2学期	未来のために必要な対策を考え、提案しよう	スライド
3学期	主張を文章にまとめよう	レポート

▼学習の成果

学習課題	【3学期】主張を文章にまとめよう（レポート）	
自己評価・アピールポイント	QRコード	
この小論文を書くにあたって僕が一番大事にしたこととはデータの正確性ということに着目して小論文を書いていました。僕がなぜ情報の正確性というところにポイントを当てたかと言うと、情報が正確でない小論文を完成させてしまうと自分が何を根拠に伝えたいのかわからなくなるのでそこをピンポイントで着目して行っていました。 他にも生成AIの添削機能を屈指して小論文を完成させていました。		



春日井市立高森台中学校

▼この1年間の学習課題と成果物

	学習課題	成果物
1学期	We b サイトをつくって高森台中をPRしよう	Google サイト
2学期	未来のために必要な対策を考え、提案しよう	スライド
3学期	主張を文章にまとめよう	レポート

▼学習の成果

学習課題	【3学期】主張を文章にまとめよう（レポート）	
自己評価・アピールポイント	QRコード	
この小論文を書くにあたって僕が一番大事にしたこととはデータの正確性ということに着目して小論文を書いていました。僕がなぜ情報の正確性というところにポイントを当てたかと言うと、情報が正確でない小論文を完成させてしまうと自分が何を根拠に伝えたいのかわからなくなるのでそこをピンポイントで着目して行っていました。 他にも生成AIの添削機能を屈指して小論文を完成させていました。		

おもな内容

1

研究概要について

高森台中学校 教頭 小川 晋

2

出川小の実践から

出川小学校 教務主任 阪井 克典

3

高森台中の実践から

高森台中学校 教務主任 長繩 正芳



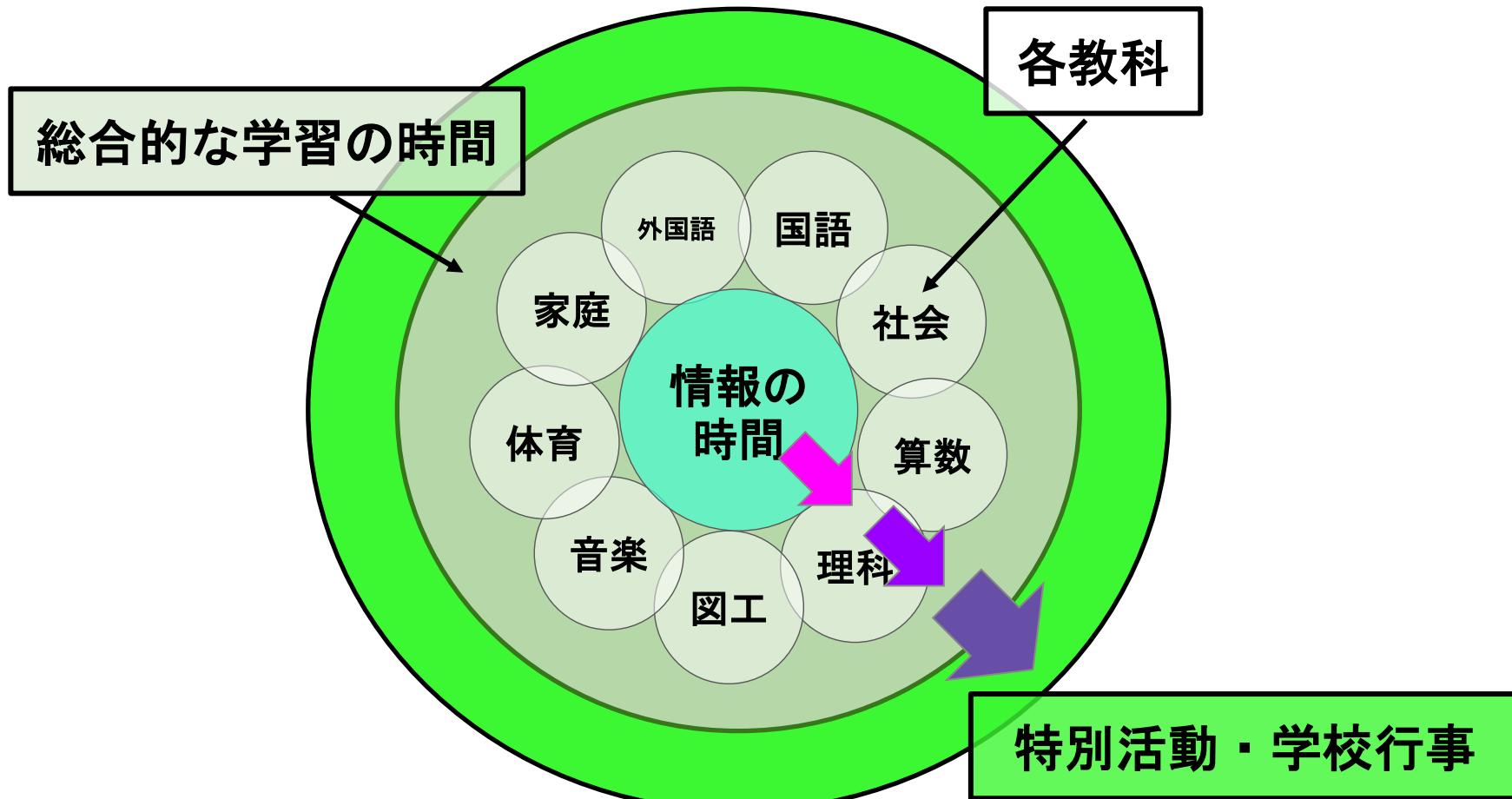


出川小学校の取組

春日井市立出川小学校
教務主任 阪井 克典

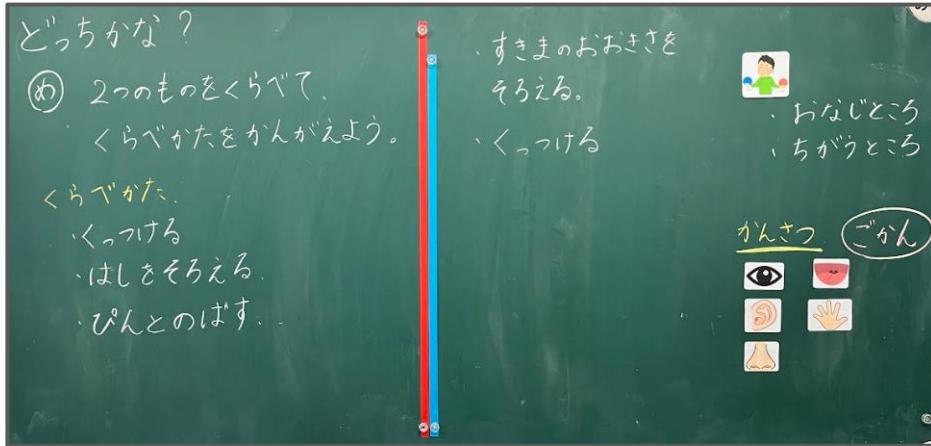


情報の時間は「学びの基盤」

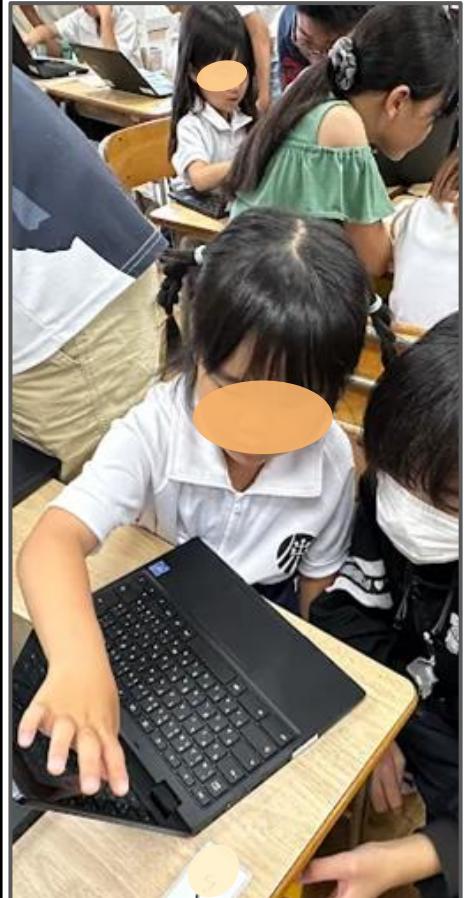


情報の時間の取組 1年生の単元例

単元例	経験させる学び方
どっちがたかい？	比較
なかまづくり	分類
五感を使ってクイズ大会をしよう	五感 写真撮影 挿入



情報の時間の取組 はじめての端末操作

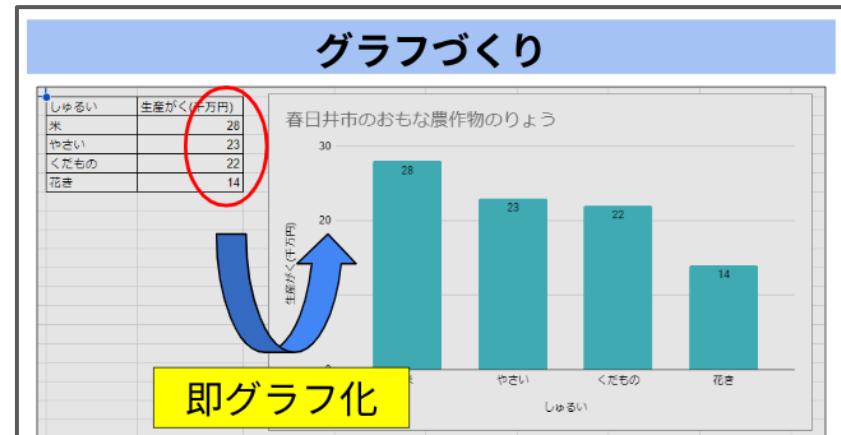


情報の時間の取組 3年生の単元例

単元例	経験させる学び方
グラフや表にあらわそう	スプシでグラフ作成 比較分類
ポップをつくろう	比較分類・関連付け 情報セキュリティ
学校で安全に生活しよう	スライド・グラフ作成 比較分類

単元の流れ

1. 写真のとり方を学ぶ
2. 「比較」と「分類」のしかたを学ぶ
3. スライドの作り方を学ぶ
4. お気に入りの本をしょうかいする
5. 学校でお気に入りの場所の写真をとる
6. お気に入りの場所を「比較」「分類」する
7. お気に入りの場所をしょうかいする



情報の時間の取組 4年生の単元例

単元例	経験させる学び方
チャットを知ろう	投稿の仕方
学級レクを考えよう	フォーム作成 読み取り 視点
めざせ、進化する○○学校	シンキング・サイクル データ分析

この単元でこんな力を身につけよう

単元の目標

きかく案作りから提案までできるようになる！

↓

スキル①

5W1Hを使って
きかく案作り！

スキル②

フォーム作成！

スキル③

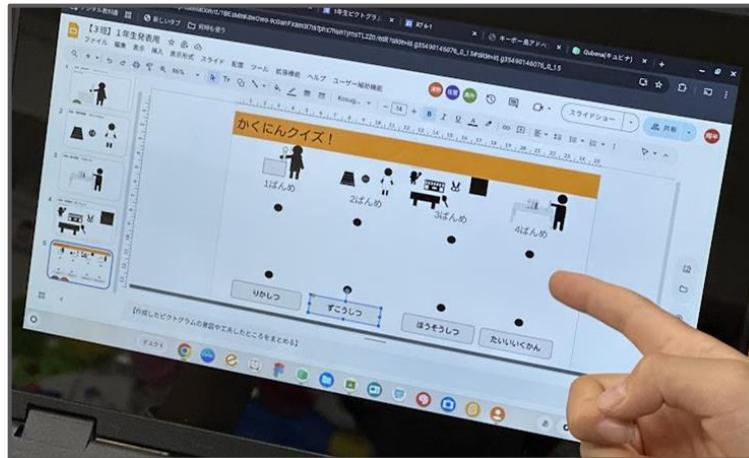
データ分析！
くらべてみよう





情報の時間の取組 6年生の単元例

単元名	経験させる学び方
ピクトグラムを活用して、校内の施設を1年生に伝えよう	多面的・多角的
保護者会の案内状を作成しよう	目的・意図に合わせた作品
データを活用してマイルールをつくり、伝えよう	目的に応じた文章作成スキル



仲良しな友達向け

仮装をしよう！ハロウィンお菓子パーティーのお知らせ

日時 10月26日(土)
17:00~21:00

場所 私の家

仮装してきてね！

TRICK OR TREAT

お菓子を持ってきてね！

お菓子パーティーをするよ！

トランプゲームもするよ！

参加するかの連絡はこの電話番号に電話をかけてね
〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

仲良しな友達バージョン

大人向け

ハロウィンお菓子パーティーのお知らせ

日時 10月26日(土)
17:00~21:00

場所 ○○の家(住所)

その他

- ・仮装をしてきてください。
- ・お菓子を持ってきてください。
- ・お菓子パーティーをします。
- ・トランプゲームもします。
- ・おさんもぜひ一緒に来てください。

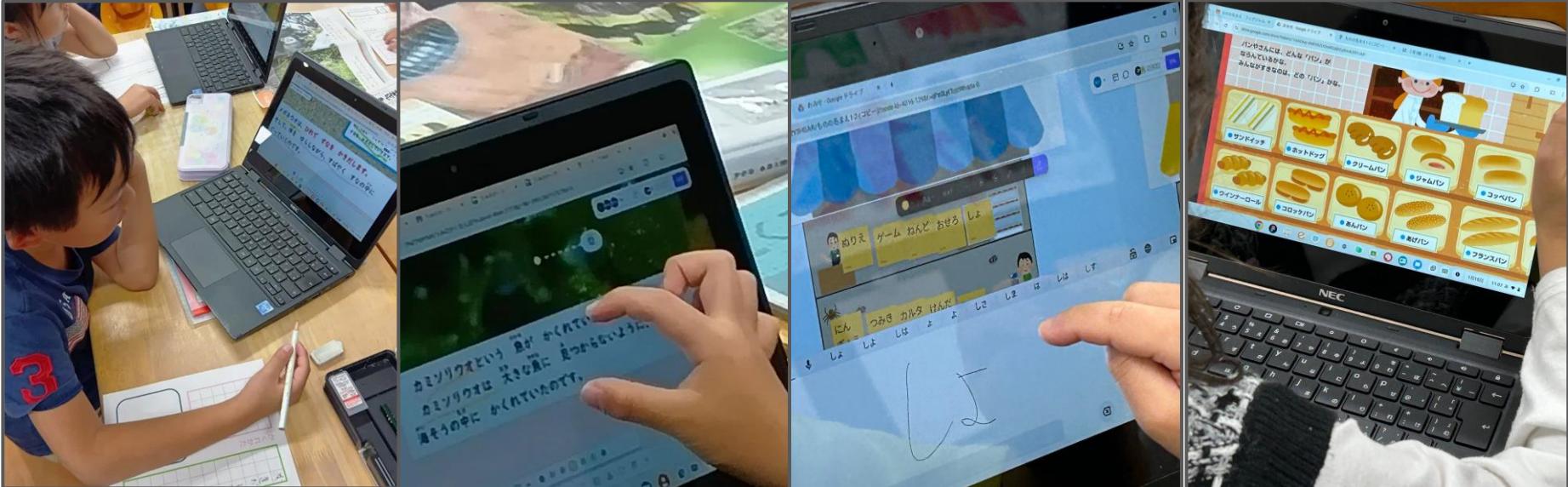
TRICK OR TREAT

お家の方も、ぜひ来てください

参加・非参加の連絡はこちらまで
〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

加藤杏樹

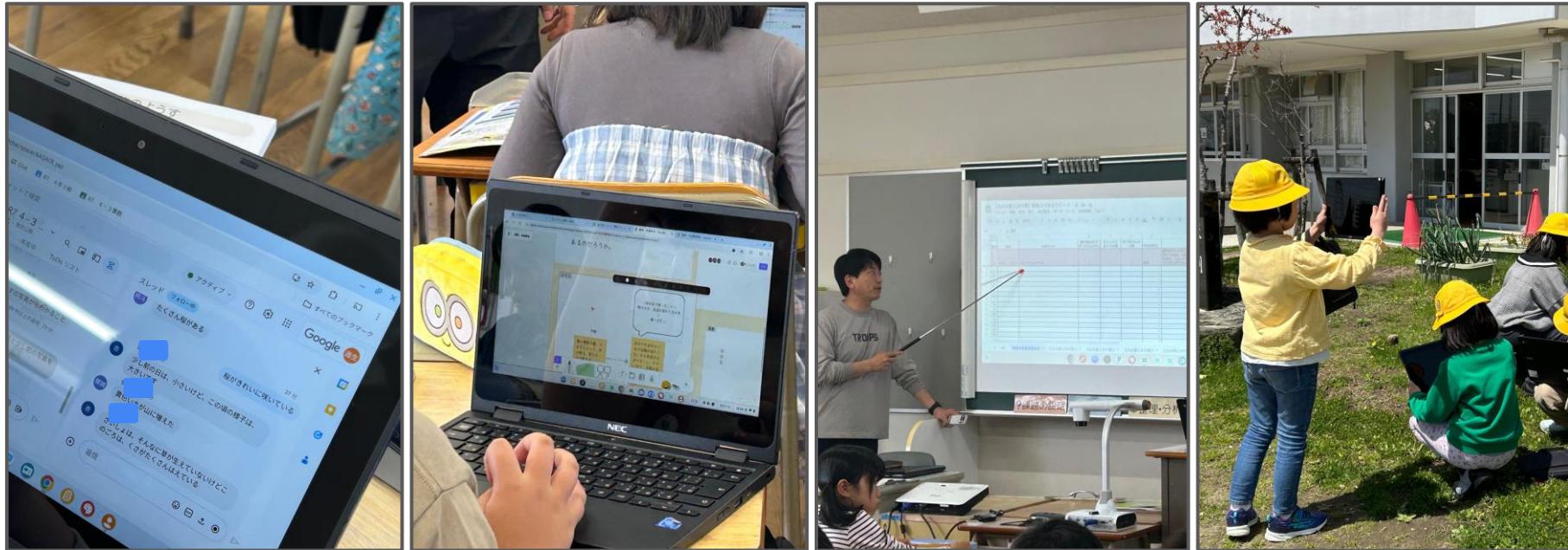
各教科で発揮させる 少しづつできる選択肢を広げる



↑1年生でも端末を使いこなしながら
情報を集め、ことばを整理していく

1年生 国語

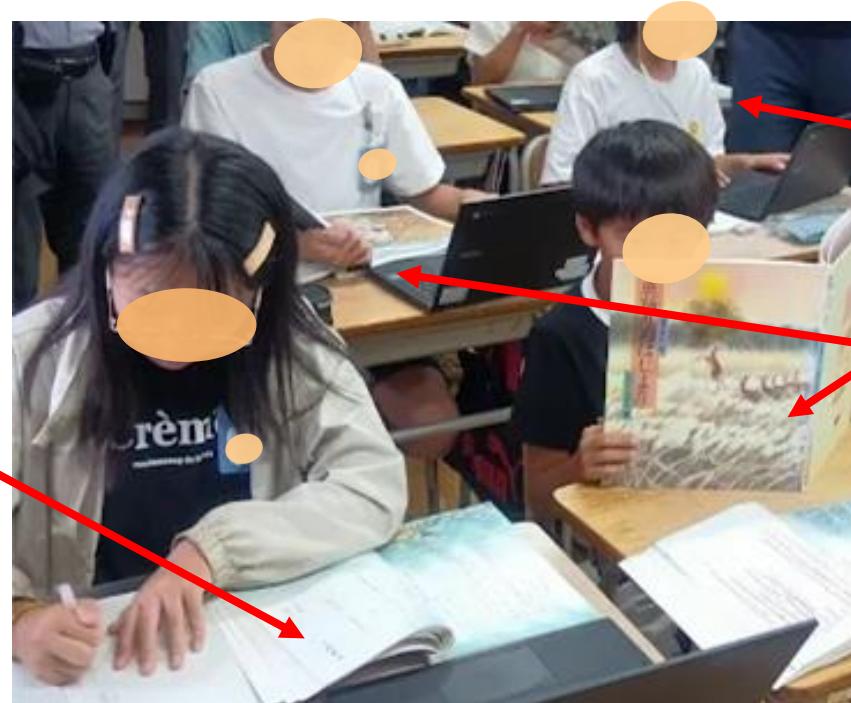
各教科で発揮させる 系統的な指導が4月に生きる



↑ 系統的な指導のおかげで、4月でも
スムーズに学習を進めることができる

4月の様子

各教科で発揮させる 課題を解決するための学び



もう一度教科書
を読み直す

動画から

関連書籍から

↑自分の課題を解決するため、様々な
方法で情報を集める様子

6年生 国語

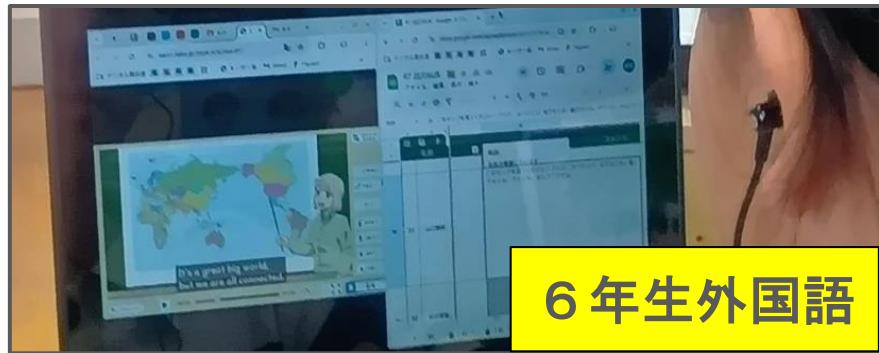
各教科で発揮させる どの教師の授業でも発揮できる

↓単元の成果物を画面録画&音声入力する様子



5年生 理科

↓動画や音声を聞いて、内容を日本語に訳す様子



6年生 外国語



5年生 音楽



6年生 保健

↑自分たちで意見を出し合い、課題を焦点化する様子

↑アルコールの害を伝えるスライドの情報を集める様子

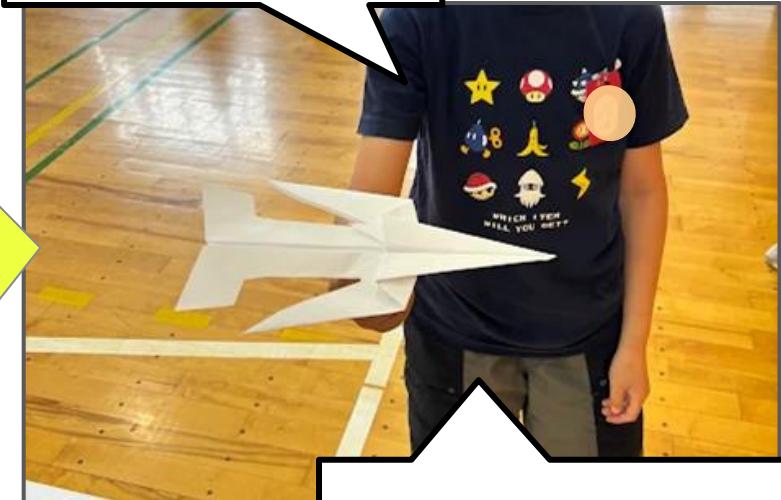
総合的な学習の時間との関連

どうしたらよく
飛ぶかな？



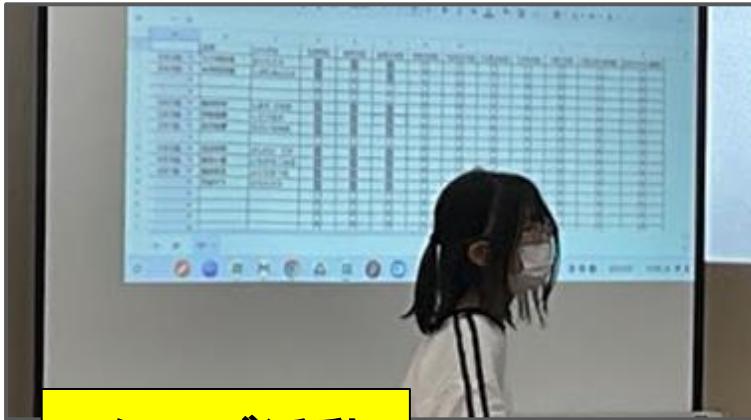
折り方に注目し
たらどう？

完成！飛ばして
みよう！



うまく飛ばなかっ
たのはなぜだろう？

特別活動・学校行事に生かす



R7 前期企画委員
11人のメンバー・限定公開
<https://docs.google.com/spreadsheets/c...>
XaB92BVrw/edit?gid=2124164317#gid=21

A screenshot of a Google Sheets document titled "R7 前期企画委員". The document contains several sheets of data, including names and roles. A yellow box with the text "児童会活動" (Student Council Activity) is overlaid on the bottom left.



おもな内容

1

研究概要について

高森台中学校 教頭 小川 晋

2

出川小の実践から

出川小学校 教務主任 阪井 克典

3

高森台中の実践から

高森台中学校 教務主任 長繩 正芳



高森台中学校の取組

～学び続ける力を育む学校～



春日井市立高森台中学校
長繩 正芳

高森台中学校の生徒たちの学びの姿

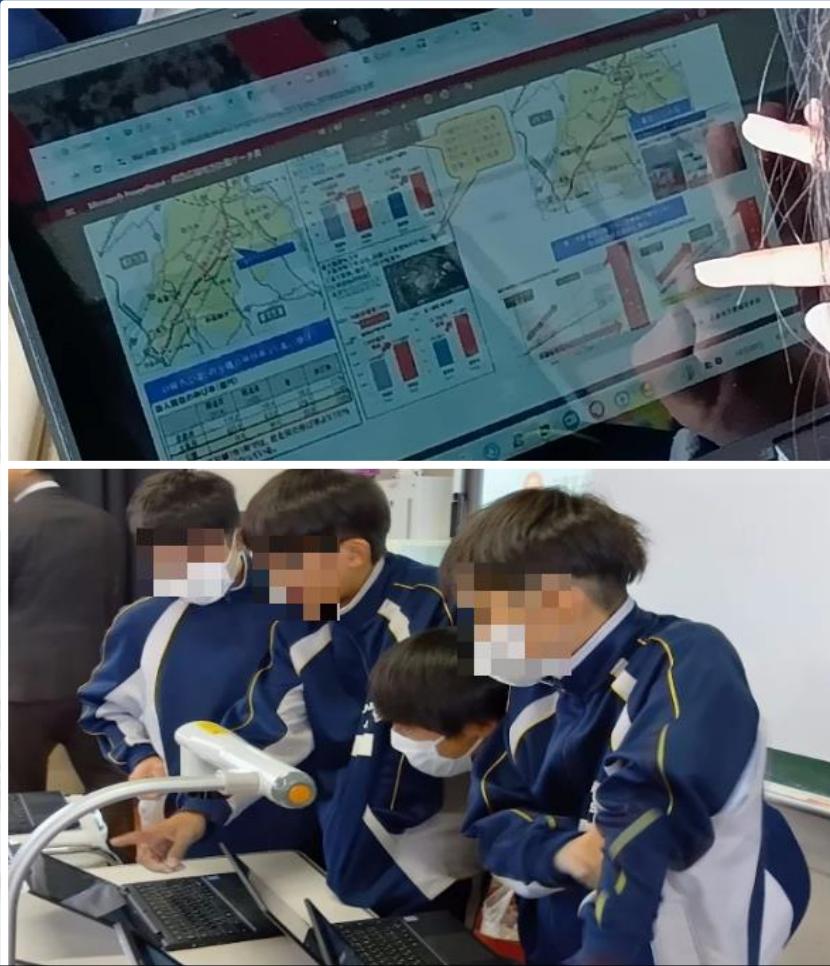


ある授業の様子

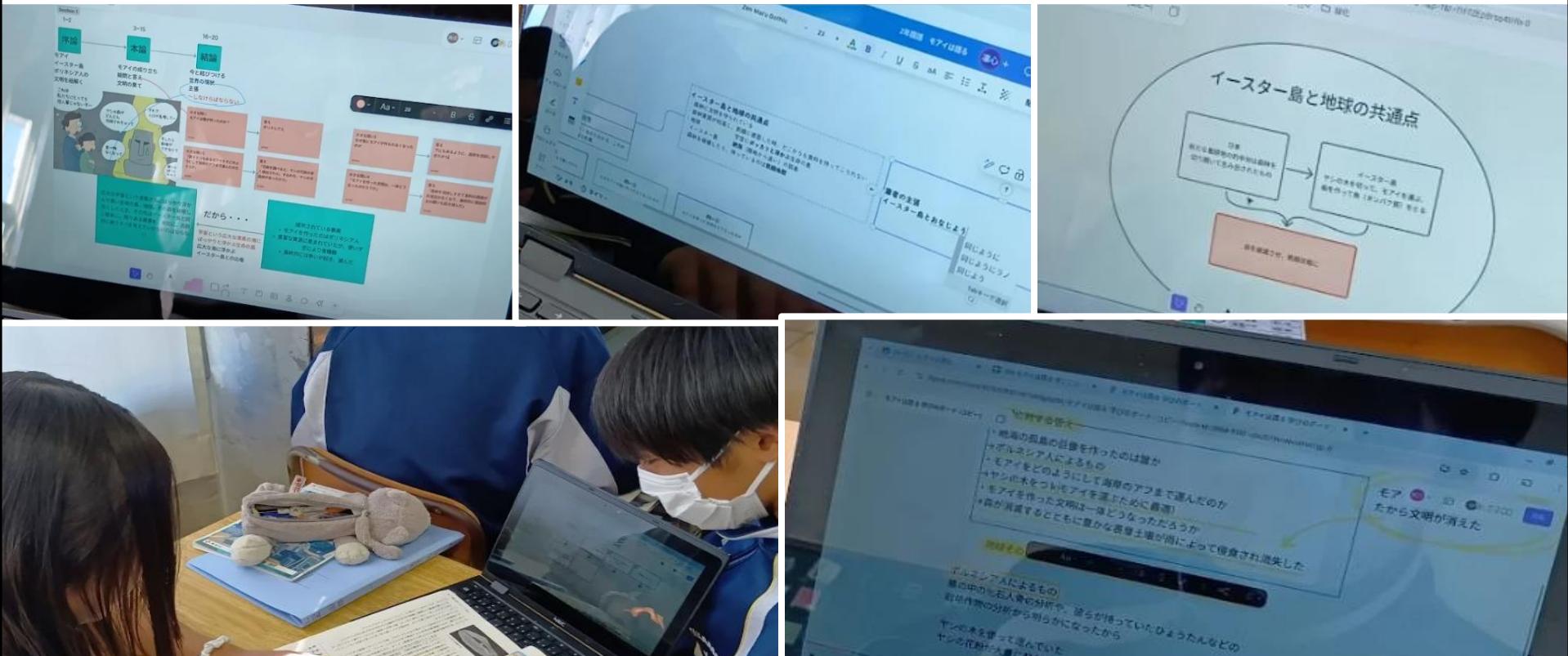
高森台中学校の生徒たちの学びの姿

事実を集めて議論する

1	2	3	4
が発達すると街 盛り人口が増え もしれない	市や町に魅力がある 場所ほど人口が少な くなっているかもし れない	人口が多い都市の近 くの市や町はそれに 伴って人口が増加す るのかもしれない	平地で海沿いだから といって人口が多 い、増えるのは確か もしれない
手段が多いとこ 人が集まりやす もしれない	伊根町 和束町	大津市	紀北町など



高森台中学校の生徒たちの学びの姿



自分が学びやすいように工夫する

高森台中学校の生徒たちの学びの姿

9/17

種類	式	原点	形	変化の割合	その他
比例	$y=ax$	通る	直線	一定	一次関数の特別な場合
反比例	$y=x/a$	通らない	双曲線	一定ではない	2つある
一次関数	$y=ax+b$	通らない	直線	一定	傾き・切片がある
二次関数	$y=ax^2$	通る	放物線	一定ではない	定数によって開き方が変わる

9/18

$y=x^2$

x	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4
y	16	9	4	1	0	1	4	9	16

xの値が1から2に変化する (xの値が2倍になる) →
yの値が1から4に変化する (yの値が4倍になる)

xの値が1から3に変化する (xの値が3倍になる) →
yの値が1から9に変化する (yの値が9倍になる)

xの値が1からnに変化する (xの値がn倍になる) →
yの値が1からn²に変化する (yの値がn²倍になる)

↓
yはxの2乗に比例する

9/19

比例の式の求め方

$x=2, y=4$ のとき、 $y=ax$ なので、xに2,yに4を代入して、
 $4=2a$ となり、 $a=2$

よって、 $y=2x$

$y=ax^2$ の式の求め方

$x=2, y=4$ のとき、 $y=ax^2$ なので、xに2,yに4を代入して、
 $4=2^2a=4a$ となり、 $a=1$
よって、 $y=x^2$



同じ値でも代入する式によって形が変わる

放物線 $y = ax^2$ が点 (2, 8) を通るとき。

1. 点を代入：

$$8 = a \cdot 2^2$$

2. 計算：

$$8 = 4a \Rightarrow a = 2$$

3. 答え：

$$y = 2x^2$$

高校 ($y=ax^2+b+c$) の場合

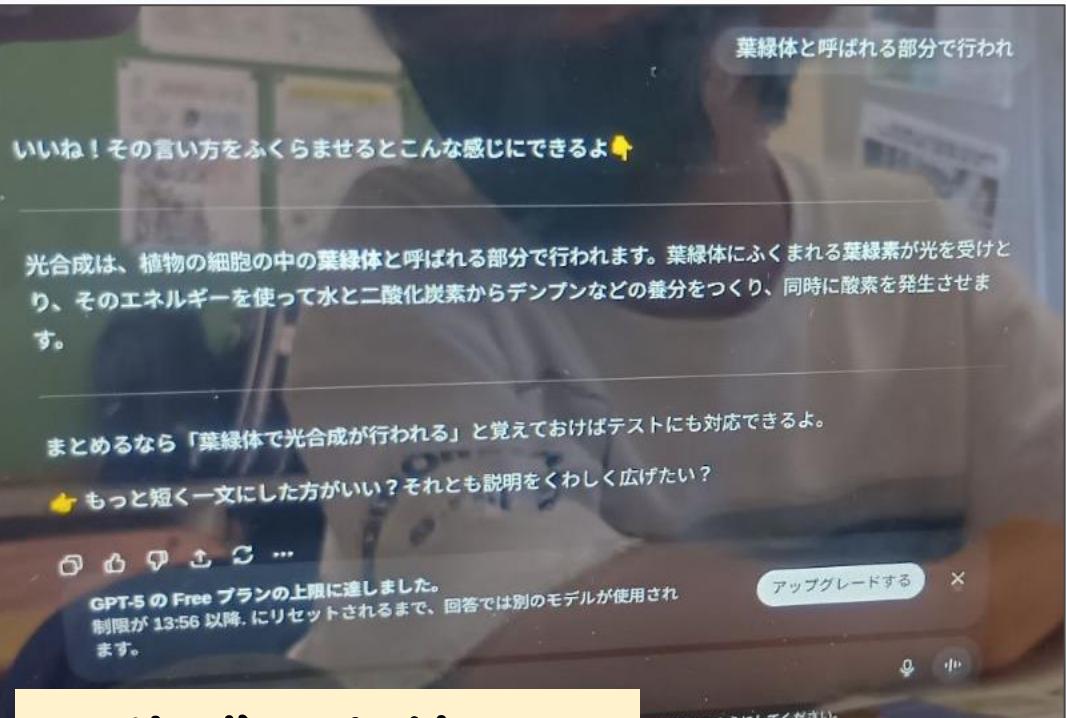
2. 手順

1. 与えられた点を (x, y) とする。

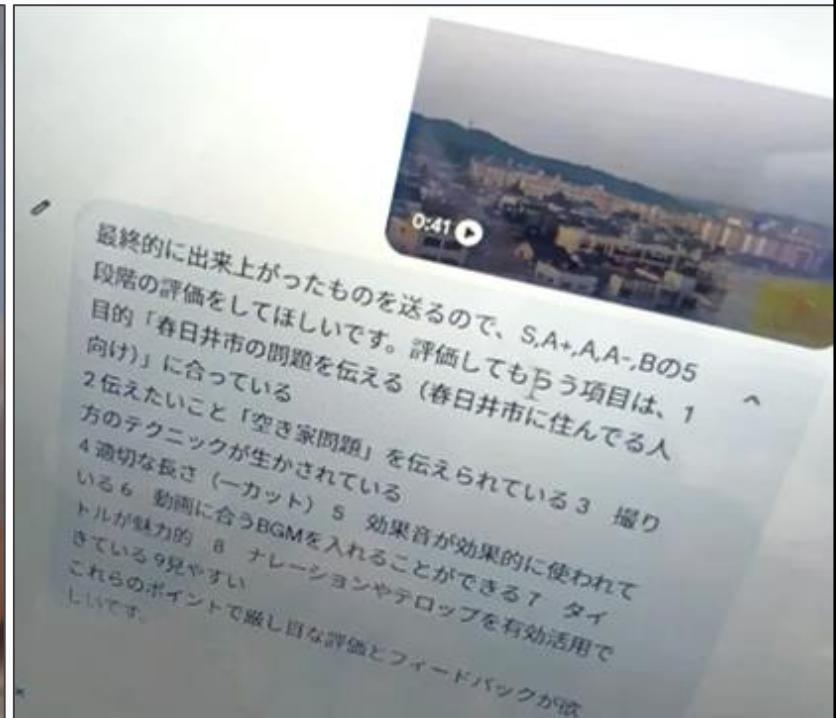
この点が $y = ax^2 + bx + c$ 上に位置する

既習の単元と関連付ける

高森台中学校の生徒たちの学びの姿



生成AIも使う



高森台中学校の生徒たちの学びの姿

探究的な学習

探究テーマ

筋トレと音楽の関係性

仮説

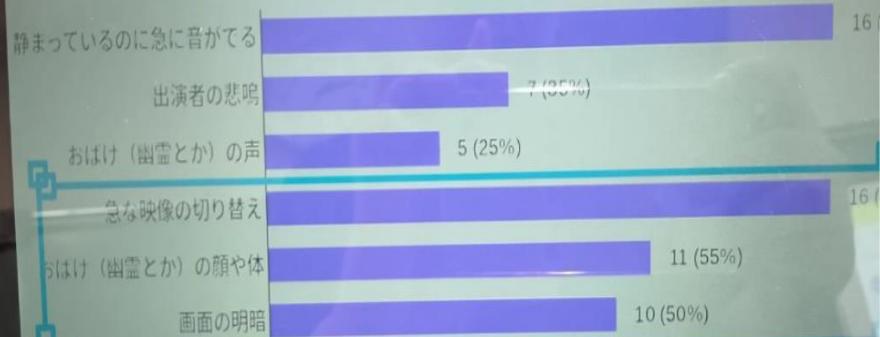
- ①筋トレと音楽を組み合わせることで、よい記録を出すことができるのではないか。
- ②聞く音楽のジャンルやBPM（速さ）によって筋トレの記録が変わるのでないか。



高森台中学校の生徒たちの学びの姿

全体の4割が音声、

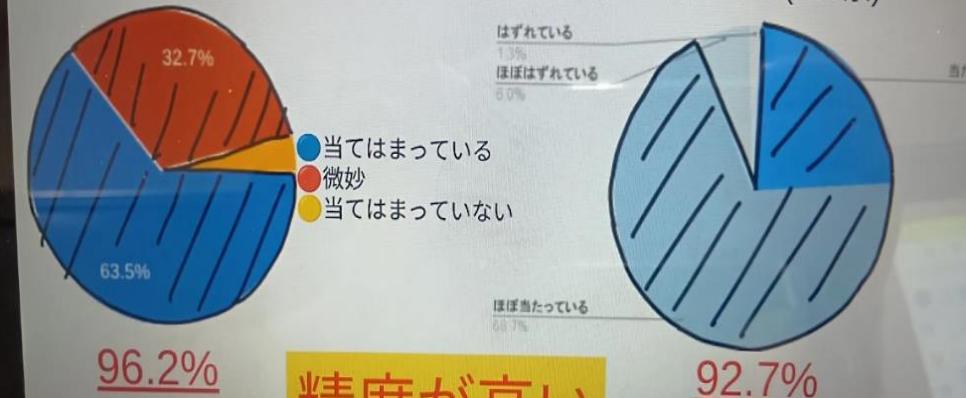
6割が映像が原因で恐怖を感じていた



データで示す

検証結果②(MBTIは当てはまっているのか?)

Q2.当てはまっていますか? (計52票) 某サイト(300票)



学びの場以外でも、生徒自ら活動を進める

【全体】 R 7 文化祭実行委員 ✓
50人のメンバー・限定公開

チャット 共有中 ToDo リスト

未読 1件 返信 1件 9月25日, 8:38

月25日, 15:25

小道具

シンデレラ-ドレス
アロマキャンドル
ガラスの靴(折り紙)作る
義母-制服のスカート
姉1-制服のスカート
姉2-制服のスカート
コナン-赤い蝶ネクタイ(ピッちゃんの私物)
ズボンの制服(りこの制服)
羊-羊のショーンor制服(たいがの私物)
王子-制服のズボン(借りるかだれかの)

月25日, 16:07

1年生実行員、来週の火曜日に102に集合です

6 2

9月26日、金曜日

9月26日, 8:43

2年生へ 今日ST後203に集合です。通しをやります。(ダンスは完璧に踊れなくても大丈夫です)

文化祭の準備を進める

学びの場以外でも、生徒自ら活動を進める

10月10日, 8:47

生徒が計画を立てる

【今日のスケジュール】 練習残り 4 日

15:25 ST終了

3年生...小道具制作【PC室】終わり次第音出し
1・2年生...合奏準備【第1音楽室】

16:00 出欠確認【第1音楽室】

チューニング

基礎合奏

16:15 「ハリー・ポッター」

16:30 「ライラック」

16:50 反省会

17:00 下校完了

24

67

令和7年度

67

学びの場以外でも、生徒自ら活動を進める



生徒会企画をプレゼンする

目的
次の学年に上がったとき、
関わりやすくするため。

主なルール2
あまり関わったことのない人
との関わりを増やしたいの
で、学年と性別を混ぜたチー
ムで行う。

The image consists of two separate screens from a presentation. The top screen, titled '目的' (Objective), contains the text '次の学年に上がったとき、関わりやすくするため。'. The bottom screen, titled '主なルール2' (Main Rule 2), contains the text 'あまり関わったことのない人との関わりを増やしたいので、学年と性別を混ぜたチームで行う。'. Both screens have decorative borders at the top.

なぜ、このような姿が
見られるようになったのか

「学び方」を学び、発揮する

「情報の時間」の学び

おさらい

情報の時間とは、
問題解決の力を伸ばす時間

「情報の時間」の学び



「情報の時間」の学び

単元の目的

問題解決の力アップ
伝えたいことを伝える力アップ



単元の目的

プレゼン力をアップさせる



どんなスキルを
身に付けるのか

これまでに身に付けてきたこと

- ① 問題発見 → 情報を集める → 整理する
の流れをイメージできる
- ② 自分の中にある情報を出しつくす
 - ・自由に考える
 - ・ブレスト
- ③ 参照する
- ④ webサイトの使い方
～ツリーの構造を生かす～

「情報の時間」の学び

cast 811

チェックしてみよう

- いつもより大きく・ゆっくり
- 「間」を意識
- 原稿を見すぎない

学 練習をして

単元課題

最先端の科
私たちの生き

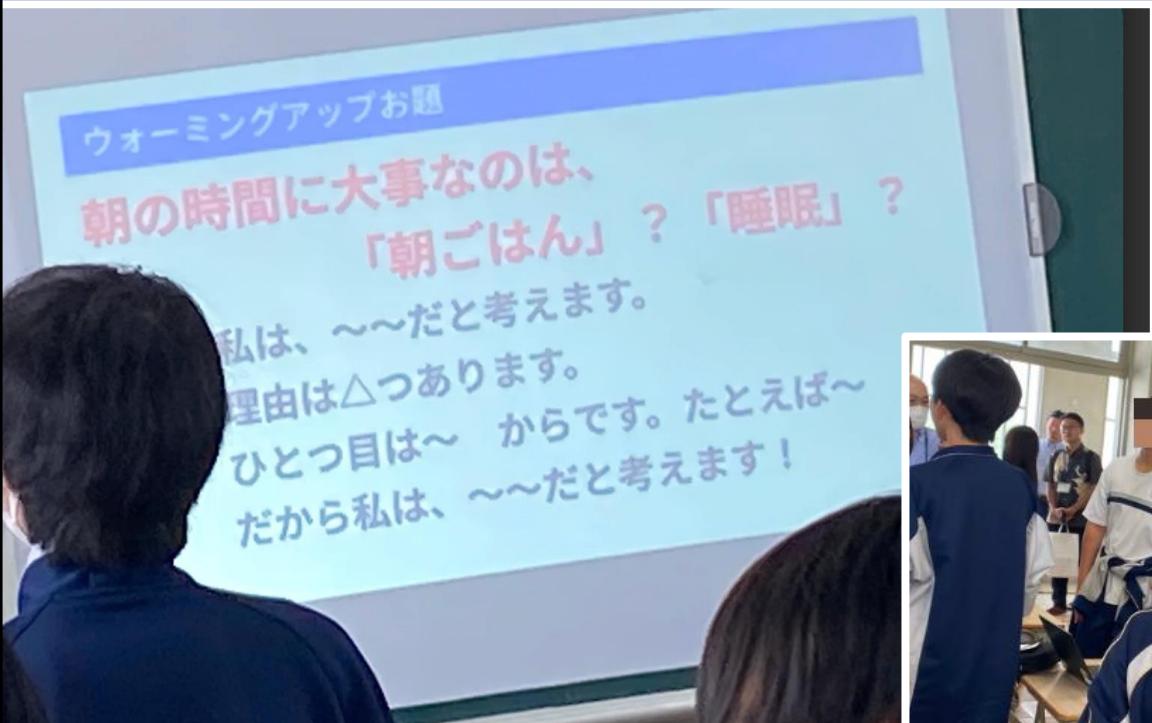
何を意識するのか

【復習】情報を発信するときに大切なこと

だれに、何を、何のために
対象 内容 目的



「情報の時間」の学び



「情報の時間」の学び



「情報の時間」の学び

練習② ニュースを要約してみよう！

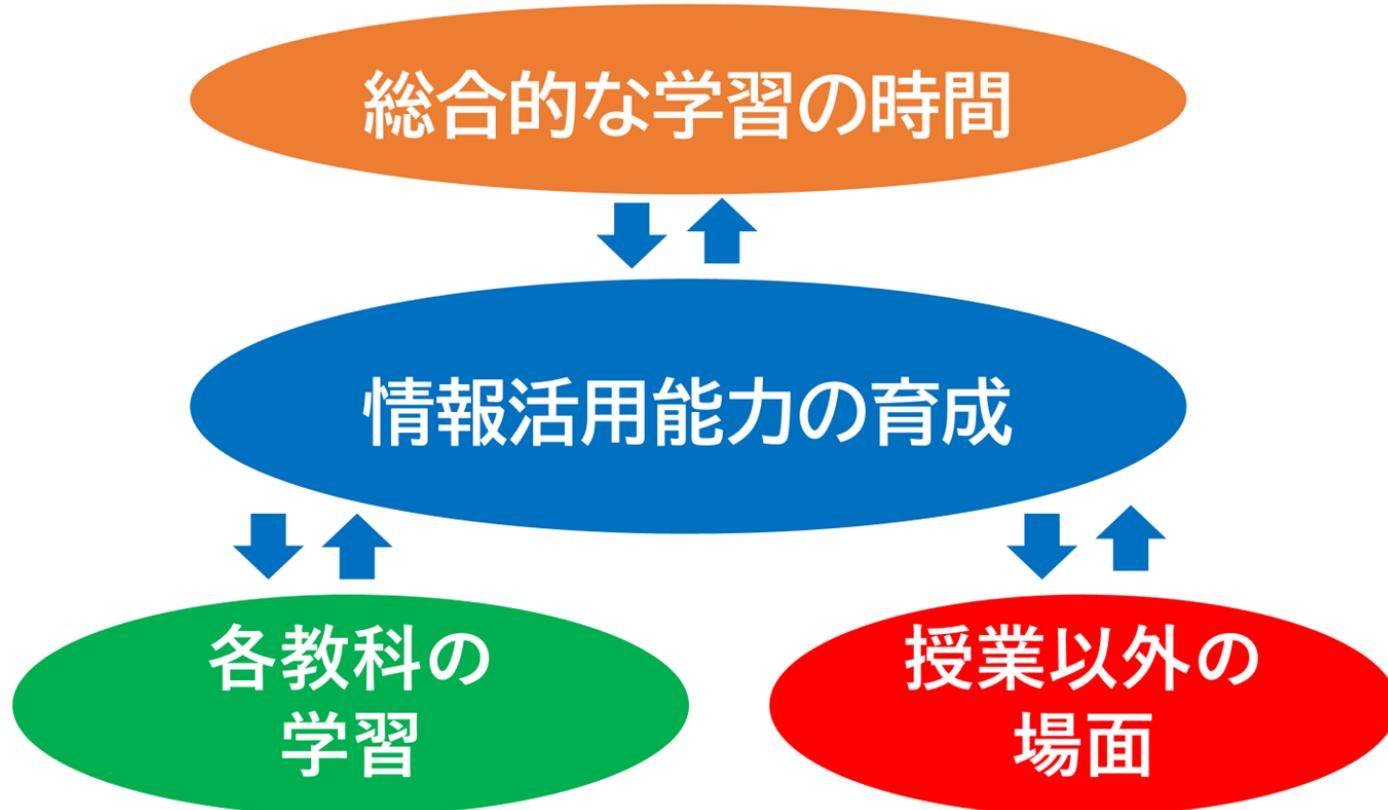
AIを使ってニュースを
3文で要約しよう。

〈+ α 〉もっといい要約を考えてみましょう
(自分の頭+AIのサポート)

注意も必要



「情報の時間」の学び



教師も学び続け、変わっていました



○○情報の時間のポイント

- ① まずはやってみる！
→何度も挑戦。問題解決の経験を繰り返す。
- ② 動画を活用して楽しく学ぶ
- ③ お手本たっぷり
→先生・先輩のお手本。お友達の成果を参照。
- ④ ゆくゆくは自己調整しながら進められるように
→クラスルームに学習過程を全て提示
資料をみれば自分で進められる設計に

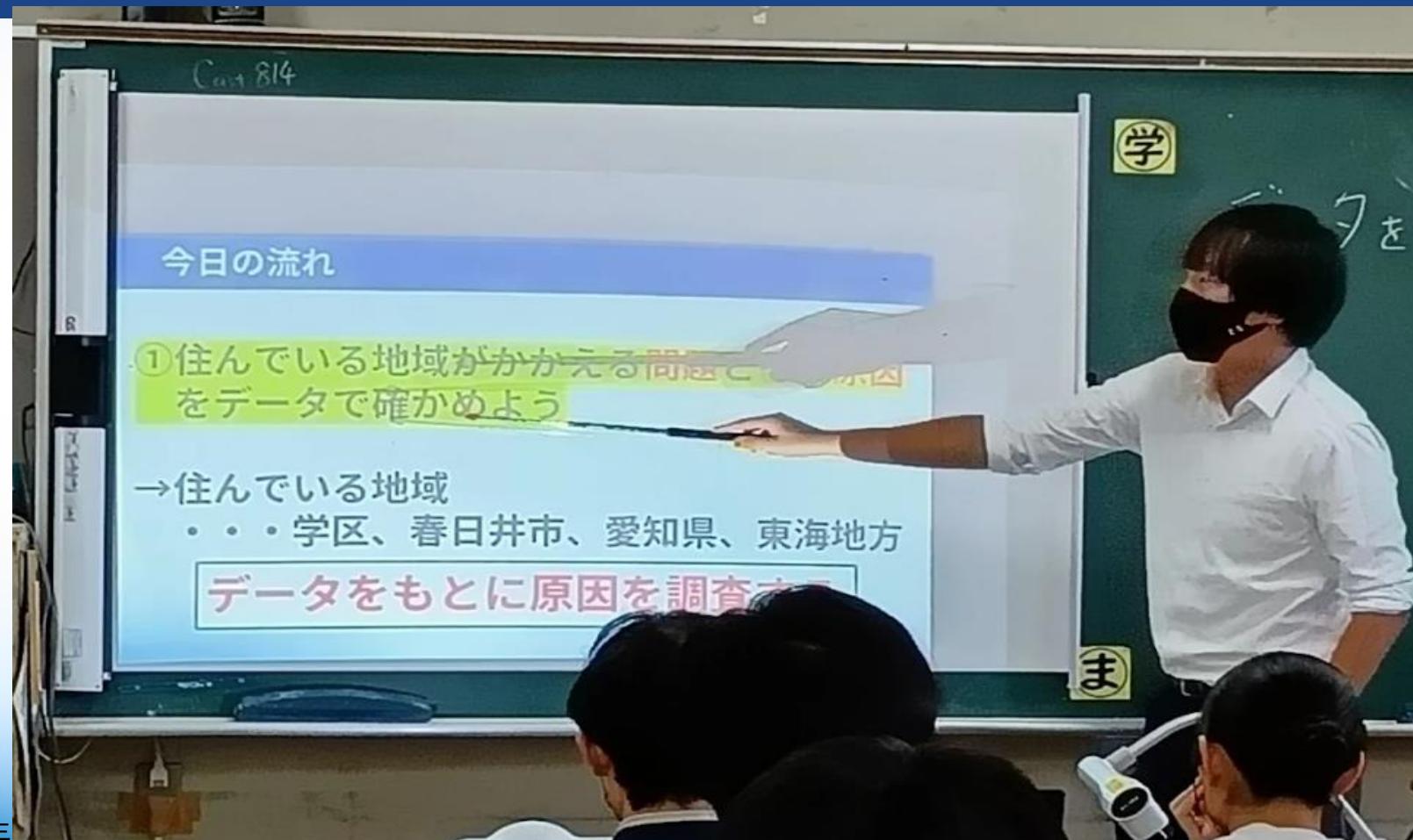
教師も学び続け、変わっていました



27

教師も情報をまとめ、アウトプットする

教師も学び続け、変わっていった



教師も学び続け、変わっていた



- (学) 課題を解決する!
- ① 練習テーマ・練習メニューを考える
 - ② 体操
 - ③ チーム練習(18分)
 - ④ ゲーム(3分×3)
 - ⑤ 振り返り(レッスン)がわかる

片づけ

学習の流れ

- ① 課題の設定
- ② 目標の設定
- ③ 方法の設定
- ④ 情報の収集
- ⑤ 整理・分析
- ⑥ まとめ・表現

事実をもとに考える

学習形態
A 一人で
B 多数で

① 似ている人(深まる・安心)
② 違う人(広がる・別の見方)
※多くの人と多くの発見を

学習の流れ
① 課題の設定 ④ 情報の収集
② 目標の設定 ⑤ 整理・分析
③ 方法の設定 ⑥ まとめ・表現

の関わりについて理解する

らの動きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知生活や社会における音楽の意味や役割について考え

ブシ、唄詞などの歌い方の特徴、声や楽器の音色、

(学) リズム 旋律 音色

「故郷」の批評文

私は「故郷」という文章は、故郷への深い愛着を感じさせてくれる物語だと考える。その根拠は3つある。

1つ目は過去と現在の対比だ。ここでの対比は風景や情景だけでなく、主人公の気持ちも大きく関わっている。例えば、教科書p104の「鉛色の空の下、わびしい村々がへたわっていた。」という本文からは、現在の故郷のどんよりとした、暗いイメージが印象に残る。一方、p106の「碧碧の空に、金色の丸い月が懸かっている。」では、過去のキラキラとした明るい印象が表現されている。また、教科書p117の「それは地上の道へのそれが道になるのだ。」という表現からは、絶望的な言葉よりも未来への希望を見出すという「過去・現在・の暗さと「未来」も描かれている。このようにそれぞれの対比がはっきりしている主人公の心の動きが明白になる。特に、変わってしまった故郷を前回思い出を大切に記憶していたという主人公の故郷への深い愛を感じ

主人公の心の変化についてだ。故郷に帰る前、おそらく主人公は帰っていた。しかし実際、現在の故郷の姿を目の当たりにし、寂寥の感覚、昔の友であったルントウの変わり果てた姿に、言葉も出なかつた主人公は悲しみと諦めの気持ちを持ってしまう。しかし、最後には「ようなものだ。」などと再び前向きな気持になっていている。このよう

事が懐かしさから悲しみ、そして希望と大きく変化している点に、さがらわれていると思う。このように、主人公の気持ちが明確になります。私たち読者はその心の動きを自分に感じ取ることができる。その深く感情移入でき、主人公の切なさや希望の感情が強く伝わって

読者に与える感情についてだ。この物語では「変わる」ことの寂寥感から希望を持って進むことの大切さが伝わってくる。風景や人間関係、故郷を思う主人公の心には深い愛着が残っている。その姿を通して大切な場所や人を思い出し、「変わってしまうものの中にも、いる」ということに気づかされる。例で言うと、教科書p112の「背中」、～のような手である。」と「艶のいい丸顔～」であるように昔は元気で活発だったルントウと、現在のルントウとをしっかりと対比している。昔は元気で活発だったルントウが、今は貧しさや疲労のせいで変わってしまったことが読み

少年時代のルントウ

の少年時代のルントウと、現在のルントウをしっかり対比している。昔は元気で活発だったルントウが、今は貧しさや疲労のせいで変わってしまったことが読み

【単元の流れ】

- ① 「ごんぎつね」で、物語文の分析を練習する。
- ② 「故郷」を分析し、作品の特徴を捉える。
- ③ 「故郷」の特徴から作品の価値を見出し、批評文にまとめる。

させるのが面倒だと言える。

アウトプット中心の問題解決的な授業

「情報の時間」の効果・まとめ

- 学び方を学ぶ → 学びの自覚
- できることが増える → 自ら学ぶ
- 問題解決的に、体験的に学ぶ
→ 日常で発揮する
- 教師の教育観や授業の変化

ありがとうございました

教育課程 系統表



小学6年		情報の時間				
月	週	情報社会に参画する態度 (情報モラル等)	情報手段の基本的な操作	問題解決の基礎等	情報の技術	単元名・活動
4月	1	引用・出典・著作権	動画の視聴	課題の設定 情報の収集	動画共有 サイト	I 「ピクトグラムを活用して、校内の施設について1年生に伝えよう」 目：目的や意図に合わせて、校内の施設についてわかりやすく伝えることができる ①課題を知り、ピクトグラムについての動画を見る。 ②紹介する特別教室を決め、特徴を書き出す。 ③～⑥特徴や思いを踏まえて、ピクトグラムを作成する。 ⑦実際に小学1年生に見てもらい、アンケートを実施する。 ⑧著作権を意識して、他者のピクトグラムを紹介する活動を行う。 ⑨「おとしで」違う恐れがあらうな 他の人の作品
	2			情報の収集 整理・分析		
	3		描画	まとめ		
	4		アンケート・スクリーンショット	まとめ		
	5			整理・分析		
	6	著作権・炎上		説明・発表		
	7			振り返り		

分類	項目	低学年	中学生	高学年	中学校
情報手段の基本的な操作等	入力	様々な手段(手書き入力等)で入力をする	正確にローマ字入力をする	速く正確にローマ字入力をする	必要な入力操作を身体的に行うことができる
	アプリ	オンラインツールを体験する	主要アプリケーションを活用する	主要アプリケーションを効果的に活用する 連絡・情報共有アプリを活用する	オンラインツールを目的に合わせて自由自在に活用する
	共同編集	共同編集で作品をつくる	共同編集で作品をつくる データを共有する (classroom以外)	コメント機能を効果的に使い作品をつくる方法を選択してデータを共有する(権限設定)	共同編集の仕組みを理解し、互いに学習の過程を参照しながら学習を進める
	基礎操作	起動やログイン等基礎的な操作をする(タッチパッド操作、タッチ操作、カメラ)	設定やアクセスibilityを理解する (明るさ、ショートカット、スクショ)	設定を工夫して活用する (2画面・タブの整理) 動画や画像の編集	自身の特性に合った設定をして活用する
	問題解決の基礎等	課題の設定	教師が提示した大きな課題をもとに自分の課題を設定する <中核となる方法> ・予想の検討	教師が提示した大きな課題をもとに課題を設定する <中核となる方法> ・課題の共有	事物・事象、日常の中から問題を見出し、解決可能な課題を設定する <中核となる方法> ・KJ法、ブレーンストーミング法 ・仮説の設定
	情報の収集	教師が与えた資料から情報を収集する	教師が示した複数の方法から選択して情報を収集する	目的を踏まえ、方法を選択したり組み合わせたりして情報を収集する	目的を踏まえ、情報収集の計画を立てた上で複数のメディアから情報を収集する
		伝えるために必要な事柄を集める	目的に合った情報を収集する	情報の信頼性や妥当性を吟味し、適切に情報を収集する	より効率的・効率的に情報収集をする